

## 審 査 報 告

長野県・長野県園芸特産振興展推進協議会主催による令和元年度長野県園芸特産振興展出品評会の審査を、去る9月17日から11月4日にかけて部門ごとに実施いたしましたので、審査員を代表してその概要と審査結果を御報告申し上げます。

長い歴史と伝統のある当品評会に、県下各地から優秀な園芸特産物が数多く出品されましたが、その部門別の出品点数は以下のとおりでありました。

第1部	園芸加工品類	
	(1) 園芸加工飲料	109 点
	(2) 園芸加工食品	122 点
第2部	鉢花類	106 点
第3部	寒天	110 点
第4部	くだもの	
	(1) ぶどう	115 点
第5部	漬物類	
	(1) 浅漬物	109 点
	(2) 本漬物	121 点
	合 計	792 点

本年の天候を振り返りますと、全国各地で記録的な大雨、相次ぐ大型台風の上陸など、今年も気象変動や災害への対応に追われた一年となりました。本県の園芸作物に関しましても、春先の低温、長梅雨による日照不足、夏場の高温など作物の管理には苦勞する天候となりました。中でも、伊豆半島に上陸した台風19号では関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的大雨となりました。本県では千曲川等が氾濫し住宅地はもとより、樹園地・きのこ生産施設等を中心に甚大な被害が発生したところであり、園芸作物生産にとって極めて厳しい年となりました。このため、台風被害発生後に予定されていた第52回うまいくだものコンクールりんごの部、第42回きのこ品評会は中止を余儀なくされました。

さて、審査でございますが、部門ごとの審査規程に基づき第1次審査では、園芸特産振興展にふさわしい品質・品位を、第2次審査では消費者ニーズへの対応と市場性、経済性等について、公正かつ厳正に行いました。

今回の出品財は、本年の厳しい気象条件にもかかわらず、素晴らしいものが揃っており、出品者の皆様の長年に亘り蓄積された高い栽培技術や加工技術を反映したものと審査員一同改めて大変感銘を受けたところであります。

また、いずれの部門の出品財も、消費者の食に対する安全・安心志向や健康への関心の高まり、より付加価値の高いものを望む傾向など、近年の消費動向に的確かつ積極的に対応されたものが揃っており、長野県を代表するとともに、全国においてもトップレベルの出品財が数多くあったと思います。

なお、部門ごとの審査所見は次ページ以降のとおりですので、御覧願います。

以上、審査の結果、

農林水産大臣賞	7 点
水産庁長官賞	1 点
食料産業局長賞	4 点
生産局長賞	4 点
関東農政局長賞	2 点
長野県知事賞	14 点
公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会会長賞	4 点
全日本漬物協同組合連合会長賞	4 点
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	5 点
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	15 点
長野県農業協同組合中央会長賞	2 点
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	3 点
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	3 点
一般社団法人長野県缶詰協会会長賞	6 点
長野県漬物協同組合理事長賞	4 点
長野県鉢花園芸組合長賞	4 点
長野県寒天水産加工業協同組合長賞	2 点
合 計	84 点

を選抜いたしましたので、褒賞を授与されますようお願いし審査報告といたします。

令和元年11月20日

審査長 長野県農業試験場長  
丸山 秀樹

